

「TSUNAGU」プログラムについて

1. 概要

地域や団体の方々の取組や活動を通じてWMG2021 関西を応援していただくという主旨のプログラムです。TSUNAGU プログラムに登録した事業は、本大会のホームページで積極的に発信していくとともに、実施される活動のチラシやポスター等に、大会レガシーテーマに沿った TSUNAGU ロゴやスフラのデザインを使用できます。



【TSUNAGU プログラムロゴ】



【大会マスコット『スフラ』】

2. 具体的な取組事例

5つのレガシーテーマに沿って、各自治体、大学、地域団体等が主催する事業が TSUNAGU プログラムに登録されています。

①個人「スポーツ・健康・生きがい」の活力

スポーツ大会から体験型スポーツイベントといった「する」スポーツを中心とした事業（マスターズスポーツフェスティバル、競技大会、スポーツ教室等）

例)

主催者：奈良県、バトンをつなげ！400mリレーフェスティバル実行委員会

事業内容：トップアスリートとのリレー対決など、リレーを楽しむイベントを実施する。



②地域「地域・環境・社会」の再創

イベントを通じて、地域に住む人々の交流の発展や、地域活性化を図る事業（地域での祭り等）

例)

主催者：左京区民ふれあい事業実行委員会 ほか

事業内容：左京区誕生 90 周年を記念した祭り。

地域の方が運営する模擬店、地域で継承される伝統文化の発表や、左京区内の小・中・大学生などのステージ など



③文化「観光・産業・文化」の発揮

地域が持つ魅力を発信する文化イベントや観光コンテンツの体験等の地域の文化に触れることができる事業（観光ツアー、展覧会、文化講演等）

例)

主催者：京都・花灯路推進協議会

事業内容：いけばな協会の協力のもと大型作品が展示される「いけばなプロムナード」、渡月橋や竹林の小径、小倉池のライトアップなどにより、初冬の季節感を演出する。期間中は寺院神社の特別拝観やライトアップをはじめとする様々なイベントを実施する。



④世界「KANSAI・アジア・世界観」の拡大

国際化への対応促進や、外国人や外国文化との国際交流を図る事業（国際試合、多言語習得事業等）

例)

主催者：徳島県

事業内容：2020年東京オリンピックにおける台湾野球代表チームの事前キャンプ地誘致に向けて、「台湾社会人チーム」と「徳島インテリゴツックス」・「四国アイランドリーグplus選抜チーム」による国際親善試合を開催する。併せて、小学生を対象とした五輪がリクエストによる野球教室や、台湾の食文化を体感する台湾フェスタを開催する。



⑤未来「教育・科学・次世代」の進化

スポーツの振興や価値、今後の在り方等についての検討や、指導者やボランティアの育成を図る事業（セミナー、研修等）

例)

主催者：東大阪市

事業内容：ワールドマスターズゲームズの認知度向上を図り、「する」スポーツの祭典を一丸となって盛り上げていくため、市政のあらゆる角度からスポーツを活かしたまちづくりを進めるべき、「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の可能性」をテーマにセミナーを開催する。

